令和６年４月

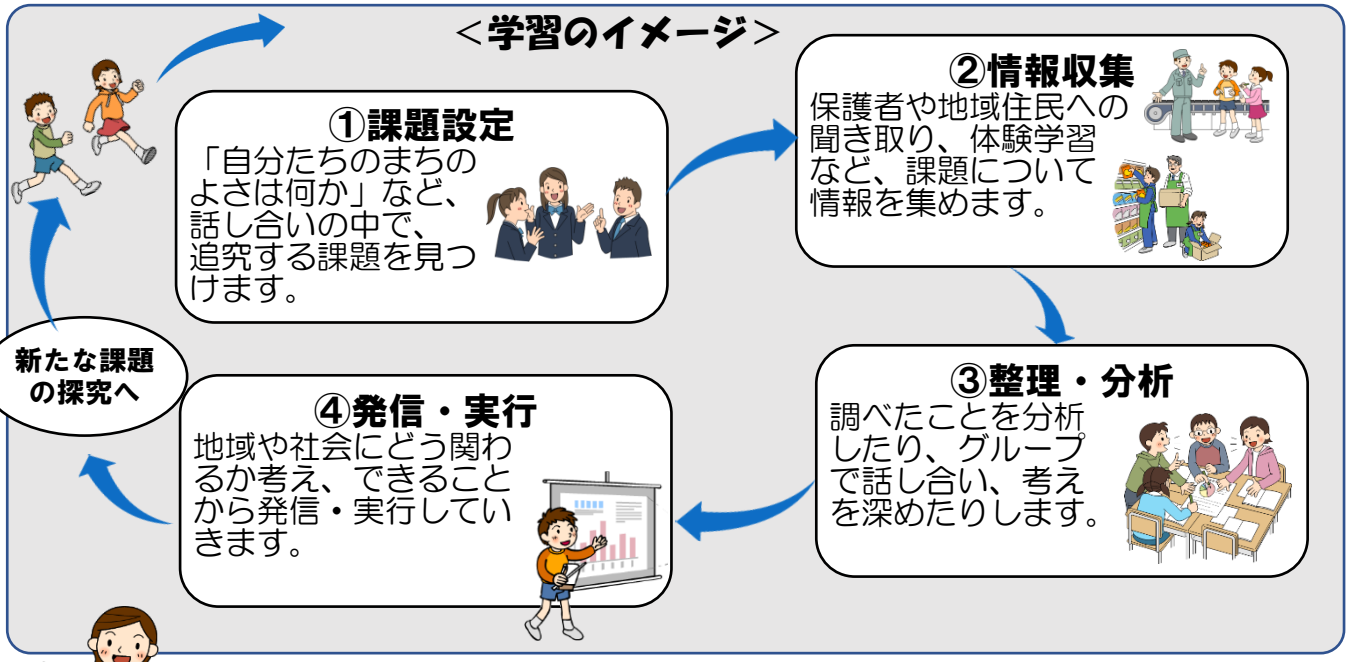
保護者の皆様

武蔵野市立第一中学校

未来の創り手を育てる「武蔵野市民科」の取組について

世の中が大きく変化する中、一人一人が幸せな社会をつくるには、「よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力（市民性）」が大切です。そこで、武蔵野市では、子どもたちの市民性を育むために、令和３年度から「武蔵野市民科」の学習に取り組んでいます。

＜学習のイメージ＞



＜武蔵野市民科についてのＱ＆Ａ＞

Ｑ　新しい教科ができるということですか？

Ａ　いいえ。総合的な学習の時間、各教科、特別の教科　道徳などを組み合わせ、学校のこれまでの実践を生かす形で行う予定です。

Ｑ　何年生から実施するんですか？

Ａ　小学校第５学年から中学校第３学年の学年で年１回以上、実施する予定です。

Ｑ　なぜ、武蔵野市民科が必要なんですか？

Ａ　武蔵野市民科として学校の教育課程に明確に位置付けることで、たとえ教員が異動しても、継続的に実施できます。また、地域や保護者の皆様に市民性の育成の重要性を発信しやすくなり、共に社会をつくる協働体制の構築にもつながります。

Ｑ　どのように評価をするんですか？

Ａ　通知表の「総合的な学習の時間」や「総合所見」で学習の成果を文章でお伝えします。

＜今年度の取組予定＞

学習テーマ　１年

〇セカンドスクール

・自らが設定した「環境」に関する課題について、白馬村の農業・自然体験を通して、武蔵野市との違いや共通点を比較し、自分たちの住んでいる地域への理解を深める。

・セカンドスクールの目標を達成するために、仲間と協力して課題に取り組もうとする態度を養う。

武蔵野市全体の取組は、「武蔵野市立小中学校ポータルサイト」からご覧いただけます。

「武蔵野市立小中学校ポータルサイト」ＱＲコード→